

会 派 名	民社友愛
報告者氏名	佐藤和典、相澤宗一
種 別	<input type="checkbox"/> 調査研究（ <input type="checkbox"/> 行政視察） <input checked="" type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 各種会議
用 務	<財政基礎研修> 世界一わかる自治体財政編
期 日	令和5年7月13、14日（木金）
場 所 （会 場）	東京都千代田区 （リファレンス新有楽町ビル）
調査項目等	
概 要	講師；立命館大学政策科学部教授、博士（政策科学） ○財政基礎（歳入編） ・自治体財政の理解のポイント ○財政基礎（歳出編） ・個々の事業とともに財政全体をみる重要性
所 感 等	<p>【佐藤和典】 これまでの間は、自分自身の職業歴による知識だけを頼りに自治体財政を見てきたが、「より深い議案審査としたい」との思いでこの研修会に参加した。まずは、地方税・地方交付金・国庫支出金・地方債の4つを理解し、決算カードの構造については様々な自治体の事例を通して学んだ。また、柏崎市特有の法定外普通税である使用済み核燃料税の位置づけも理解できた。今後、少子高齢化が進む柏崎市としては、財政運営の健全化が必要不可欠である。その上で、国が設定する財政支援を堅実に利用していくことがポイントとなる。講義で教わった「地域・自治体での優れた実践によって国全体を動かしていく」との高い意識を持って予算決算審議に取り組むことが重要である。</p> <p>【相澤宗一】 財政は健全でなければならないことは誰もが思うことだが、ないに越したことのない借金も、状況によっては必要であることに目からうろこであった。 柏崎市議会基本条例の前文に 「柏崎市議会と柏崎市長は、（中略）市政の発展、市民自治及び市民福祉の向上を目指していく使命が課せられている。」とある。 いくら赤字にならない経営をしたとしても、住民福祉の維持向上が図られなくては、お金の使い方として正しくない。ならば借金をしてでも住民福祉の増進に充てる。でもそこで大事なはその事業は自治体としてやるべきことなのか、その政策を推進していくことができる財源の振り向けとなっているのか、その観点でのチェックが重要であることを改めて認識した。</p>

